

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

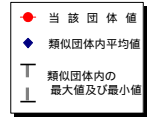
山梨県北杜市

## 経常収支比率の分析

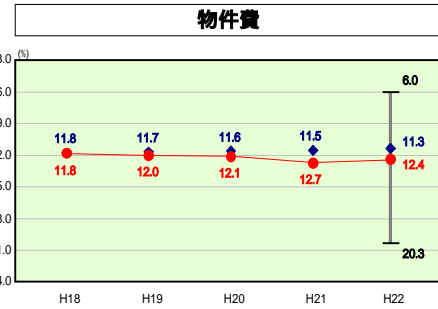
人口	49,063人	(H23.3.31現在)	実収支比率	- %
面積	802.89km <sup>2</sup>		赤字比率	- %
入出費	32,417,640千円		赤字比率	18.8 %
歳入	31,397,666千円		赤字比率	108.4 %
歳出	848,529千円			
標準財政規模	21,244,277千円			
地方債現在高	37,230,191千円			

市町村類型(年度)	H18	H19	H20	H21	H22
実収支比率	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
赤字比率	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0

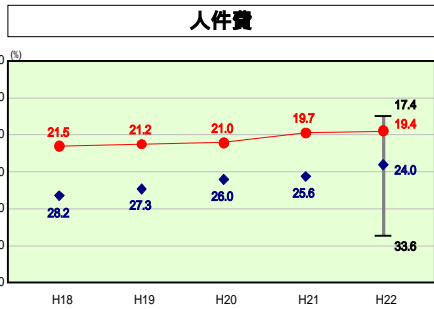


市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



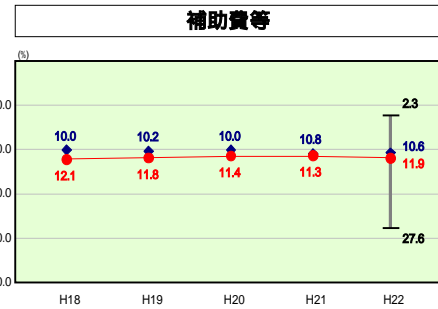
### 物件費の分析欄

8町村での合併のため類似する公共施設が多く、管理運営に係る経費が多額のため類似団体平均を上回っている。現在、指定管理者制度の導入により削減を図っているが、今後とも、公共施設の統廃合を進め、一層の経費削減に努める。



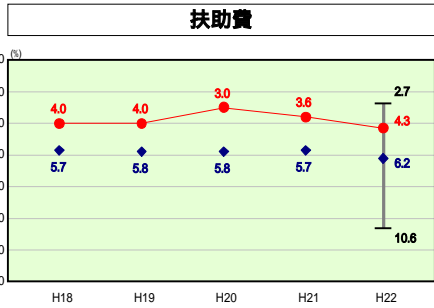
### 人件費の分析欄

類似団体平均と比較すると、人件費に係る経常収支比率は低くなっているが、職員数が類似団体平均より多くなっていることから、退職者の補充減等により職員数の削減を行い、一層の人件費の削減に努める。



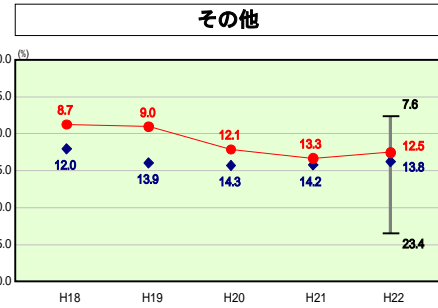
### 補助費等の分析欄

経常収支比率の上では、類似団体平均を1.3上回っており、今後は、効率的な病院経営による市立病院への負担金の抑制や市単独補助金の廃止や削減など見直しを行い減少に努める。



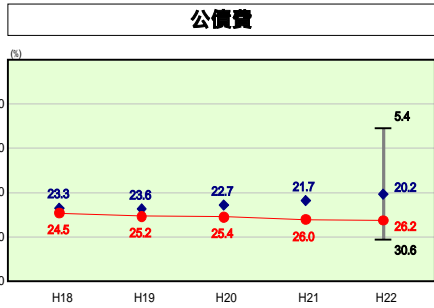
### 扶助費の分析欄

経常収支比率の上では、類似団体平均を下回っているが、前年度より0.7増加している。上昇傾向にある要因としては生活保護受給者の増加や子ども手当の支給による増加などが主な要因として考えられるが、今後は、各種事業の効率的な実施や制度の見直しにより減少に努める。



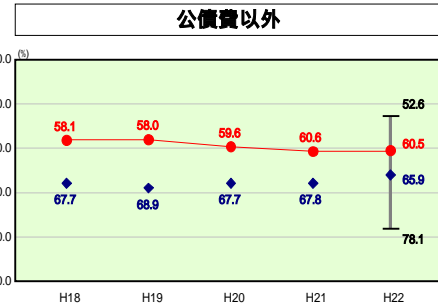
### その他の分析欄

前年度から0.8減少しており、類似団体平均を1.3下回っているが、今後とも国民健康保険・介護保険等の医療費、また、簡易水道事業・下水道事業の維持管理経費や公債費の増加が見込まれるため、特別会計において料金の改定による自主財源の確保を図り、普通会計の負担軽減を図る。



### 公債費の分析欄

社会資本整備に係る大型事業の実施や合併町村の地方債を引き継いだことにより地方債現在高が膨らんでおり、類似団体平均を6.0上回っている。合併算定替えの終了に伴う普通交付税の縮減に備え、積極的な繰上償還の実施や公共事業の見直しによる地方債発行額の抑制に努める。



### 公債費以外の分析欄

類似団体平均を下回っているものの、ここ数年横ばい傾向にある。8町村での合併のため職員数・公共施設が多く、今後も早期退職制度や指定管理者制度の導入により人件費・物件費の削減を図るとともに、増加傾向にある扶助費については、各種事業の効率的な実施や制度の見直しにより減少に努める。